# HP Slate 21 Pro All-in-One

ユーザー ガイド

© 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

Android および Google は Google Inc の商標または登録商標です。Bluetooth は、所有者に帰属する商標で、ライセンスの下に Hewlett-Packard Company によって使用されています。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

初版：2013 年 12 月

製品番号：753317-291

**製品についての注意事項**

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

# このガイドについて

このガイドでは、HP Slate 21 Pro All-in-One の設置方法および使用方法について説明します。

**警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

**注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

**注記：** 重要な補足情報です。

# 目次


1 製品の特徴 ..... 1

前面の各部 ..... 2

背面および側面の各部 ..... 3

スレート モードおよび HDMI モード ..... 4

スレート モード ..... 4

HDMI モード ..... 4

スレート モードと HDMI モードの切り替え ..... 5

2 ハードウェアのセットアップ ..... 6

机に設置する場合の準備 ..... 6

壁面に取り付ける場合の準備 ..... 7

ケーブルの接続 ..... 9

傾斜角度の調整 ..... 13

ロック ケーブルの取り付け ..... 14

コンピューターの最初の電源投入 ..... 15

USB デバイスの接続 ..... 16

タッチ スクリーンの使用 ..... 17

1 本指スライド ..... 17

タップ ..... 17

ピンチとストレッチによるズーム ..... 18

回転 ..... 18

スワイプ ..... 19

ネットワークへの接続 ..... 19

無線ネットワークへの接続 ..... 19

有線ネットワークへの接続 ..... 20

Bluetooth の使用 ..... 21

3 スレート モードのユーザー インターフェイスの使用 ..... 22

ファイルの管理 ..... 23

クラウド ストレージおよびファイル共有 ..... 23

[Box.net]の使用 ..... 23

[Google ドライブ]の使用 ..... 23

ビデオ会議 ..... 24

[Kingsoft Office]の使用 ..... 24

Citrix アプリの使用 ..... 24
Citrix Receiver ..... 24
GoToMeeting ..... 25
GoToMyPC ..... 25
GoToAssist ..... 25
モバイル デバイス管理（MDM） ..... 25
[HP Classroom Manager]（学生版）の使用 ..... 25
インターネットの閲覧 ..... 26
メディアの再生 ..... 26
カメラの使用 ..... 27
印刷 ..... 27
ブラウザーでの印刷 ..... 27
Android の設定の調整 ..... 28
日付および時刻の設定 ..... 28
セキュリティ設定 ..... 28
画面のロック ..... 28
暗号化 ..... 28
サウンド設定 ..... 29
言語 ..... 29
ソフトウェアのアップデート ..... 29
外付けキーボードの言語の設定 ..... 30
IME（入力方式エディター）の有効化 ..... 30
ホーム画面の壁紙の変更 ..... 31
ホーム画面上のアプリの整理 ..... 31
バックアップおよびリセット ..... 32
バックアップと復元 ..... 32
データの初期化 ..... 32

**4 HDMI モードでのオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用 ..... 33**
電源ボタンのロックアウト ..... 34
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）のロックアウト ..... 34

**5 安全および保守に関するガイドライン ..... 35**
安全に関する重要な情報 ..... 35
保守に関するガイドライン ..... 36
コンピューターの清掃 ..... 36
コンピューターの運搬 ..... 36

**6 よくある質問 ..... 37**

7 製品サポート ..... 39

8 技術仕様 ..... 40

HP Slate 21 Pro All-in-One ..... 40

エナジー セーブ機能 ..... 41

付録 A 規定に関するご注意 ..... 42

Federal Communications Commission notice（米国向け） ..... 42

Modifications ..... 42

Cables ..... 42

Declaration of Conformity for products marked with the FCC Logo（米国向け） ..... 42

Products with wireless LAN devices ..... 43

Brazil notice（ブラジル向け） ..... 43

Canadian notices（カナダ向け） ..... 44

European Union regulatory notices（欧州連合向け） ..... 44

Products with wireless functionality (EMF) ..... 44

Restrictions for product with wireless functionality ..... 45

German ergonomics notice（ドイツ向け） ..... 45

Australia and New Zealand notice（オーストラリアおよびニュージーランド向け） ..... 45

日本向け ..... 45

無線 LAN、無線 WAN、および Bluetooth 認定マーク ..... 46

South Korean notices（韓国向け） ..... 46

Mexico notice（メキシコ向け） ..... 46

Taiwan NCC notices（台湾向け） ..... 46

Wireless LAN 802.11a devices ..... 46

Wireless LAN 802.11 devices/Bluetooth devices/Short range devices ..... 47

電源コードについて ..... 47

日本国内での電源コードの要件 ..... 47

製品環境に関するご注意 ..... 48

国際エネルギー スター プログラムへの準拠 ..... 48

有害物質の破棄 ..... 48

Disposal of waste equipment by users in private household in the European Union（欧州連合向け） ..... 49

HP リサイクル プログラム ..... 49

化学物質 ..... 49

日本向け製品の部材表示について ..... 49

China restriction of hazardous substances（中国向け） ..... 50

Turkey EEE regulation（トルコ向け） ..... 50

Ukraine restriction of hazardous substances（ウクライナ向け） ..... 50

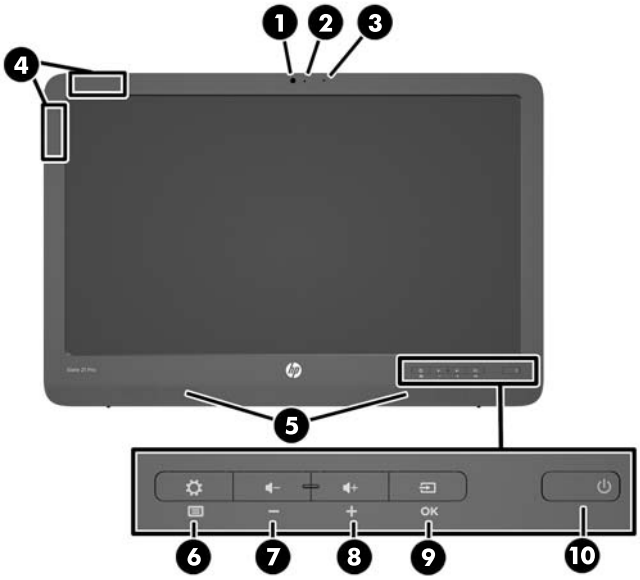
# 1 製品の特徴

HP Slate 21 Pro All-in-One は、企業向けの Android™ を搭載したタッチ対応のオールインワン コンピューターで、Google™ Play アプリ ストアおよびプリインストールされたビジネス アプリにアクセスできます。HP Slate 21 Pro では、簡単かつ直感的で使いやすいタッチ インターフェイスを利用して、インターネット、Android アプリ、およびクラウドにすばやく簡単にアクセスできます。デスクトップ コンピューターやノートブック コンピューターを使わずにインターネットやアプリにアクセスしたり、Citrix ユーザー用のキオスクとして使用したり、中小企業で使用したり、クラウドの生産性を活用したりするための低価格のデバイスを必要としている企業に最適です。

アクティブ マトリックス方式の薄膜トランジスタ（TFT）パネルを採用しています。このコンピューターの特長は以下のとおりです。

- マルチユーザーに対応し、Google Play アプリ ストアにアクセスできる Android 4.3 オペレーティング システム
- 21.5 インチ（対角長 54.6 cm）の表示領域 LED、1920×1080 の解像度
- IPS パネル、上下左右 178 度の視野角、1000:1 のコントラスト比
- 15～70°の傾斜角度調整機能
- 3 台のカメラを使用する 2 点光学タッチスクリーン
- NvidiaTegra 4 クワッド コア（T40S）プロセッサ
- 16 GB のフラッシュ メモリ ストレージ
- USB 2.0 ポート（×3）
- SD（Secure Digital）カード リーダー
- 内蔵の HP Web カメラ（720p HD）およびマイク
- Ethernet コネクタ
- コンピューター、カメラ、DVD プレーヤーなどのデバイスを接続できる HDMI 入力端子
- スレート モードと HDMI モードの切り替え機能
- ヘッドフォンやヘッドセットを接続できるオーディオ出力/マイク兼用コネクタ
- ハードウェア デバイスを自動的に認識するプラグ アンド プレイ機能（USB プリンターはサポートされていません）
- 無線 LAN 802.11 a/b/g/n ＋ Bluetooth® 4.0
- 内蔵ステレオ スピーカー
- 有線の USB キーボードおよびマウス（一部のモデルにのみ付属）
- 壁面固定などさまざまな方法で固定が可能な VESA（Video Electronics Standards Association）準拠の取り付け穴

# 前面の各部



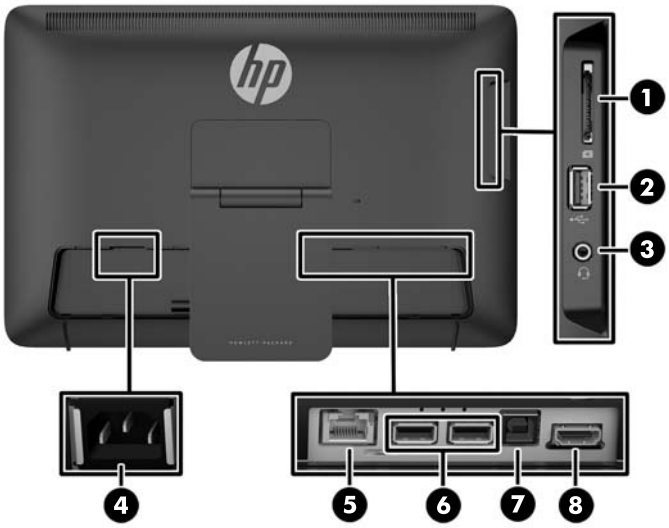

| 名称 | | 機能 |
|---|---|---|
| (1) | Web カメラ | 動画を録画したり、静止画像を撮影したりします |
| (2) | Web カメラ ランプ | Web カメラの使用中に点灯します |
| (3) | 内蔵マイク | サウンドを集音、録音します |
| (4) | 無線 LAN/Bluetooth アンテナ（×2）* | 無線信号を送受信して無線 LAN と通信します |
| (5) | スピーカー | サウンドを出力します |
| (6) | 設定/メニュー ボタン | スレート モードでは、[設定]を表示します<br>HDMI モードでは、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を表示します |
| (7) | 音量ダウン/マイナス ボタン | スレート モードおよび HDMI モードで音量を下げます<br>HDMI モードで OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます |
| (8) | 音量アップ/プラス ボタン | スレート モードおよび HDMI モードで音量を上げます<br>HDMI モードで OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます |
| (9) | ソース/OK ボタン | スレート モードと HDMI モードを切り替えます<br>HDMI モードで OSD メニューが表示されているときに押すと、強調表示されたメニュー項目が選択されます |
| (10) | 電源ボタン | コンピューターの電源のオン/オフを切り替えます |

**注記：** Web カメラおよび内蔵マイクはスレート モードでのみ動作します。HDMI モードでは動作しません。

**注記：** 無線 LAN を設定し、インターネットに接続するには、別売のブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）、インターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス、および別売の無線ルーターが必要です。

* アンテナはオールインワン コンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

# 背面および側面の各部




| 名称 | | 機能 |
|---|---|---|
| (1) | SD カード スロット | SD（Secure Digital）メディア カードのデータの読み取りおよび書き込みを行います |
| (2) | USB 2.0 ポート | 外付け USB デバイスをコンピューターに接続します |
| (3) | オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ | ステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセットなどにサウンドを出力します |
| (4) | 電源コネクタ | 電源コードをコンピューターに接続します |
| (5) | Ethernet コネクタ | Ethernet ケーブルをコンピューターに接続します |
| (6) | USB 2.0 ポート | 外付け USB デバイスをコンピューターに接続します |
| (7) | USB アップストリーム コネクタ | 他のコンピューターとこのコンピューターをつなぐ USB ケーブルを接続します（他のコンピューターの接続時に HDMI モードでのタッチ機能に必要） |
| (8) | HDMI 入力端子 | コンピューター、カメラ、DVD プレーヤーなどの HDMI デバイスを接続します |

**注記：** 側面のコネクタ（SD カード スロット、USB2.0 ポート、およびオーディオ出力コネクタ）は、スレート モードでのみ動作します。HDMI モードでは動作しません。

# スレート モードおよび HDMI モード

このオールインワン コンピューターは、スレート モードまたは HDMI モードで動作します。

## スレート モード

スレート モードでは、企業向けの Android 搭載デバイスとして動作し、70 万を超えるアプリ、クラウド コンピューター、およびインターネットにアクセスできます。

スレート モードは、電源に接続するだけで使用できます。インターネットやネットワークにアクセスするには、有線（Ethernet）または無線（Wi-Fi）接続も必要になります（詳しくは、19 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください）。

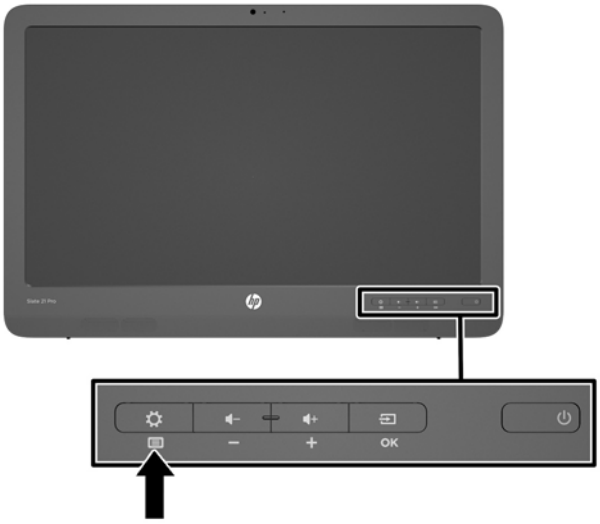
## HDMI モード

HDMI モードでは、コンピューター、カメラ、DVD プレーヤーなどの HDMI デバイスに接続すると標準的なモニターとして動作します。

HDMI モードを使用するには、電源および HDMI デバイスに接続する必要があります。他のコンピューターに接続しているときにタッチ機能を使用するには、さらに USB アップストリーム ケーブル（製品に付属）を使用して、オールインワン コンピューターの USB アップストリーム ポートと他のコンピューターの USB ダウンストリーム ポートを接続する必要があります。

## スレート モードと HDMI モードの切り替え

モードを切り替えるには、前面のソース ボタンを押します。ソース ボタンを押すと、[モード切り替え要求]画面が表示されます。モードの切り替えを続行するには、[モード切り替え要求]画面がタイムアウトになる前にソース ボタンをもう一度押します。モードの切り替えを中止する場合は、音量ダウン ボタンを押します。どちらのボタンも押さないまま[モード切り替え要求]画面がタイムアウトになると、モードの切り替えは自動的にキャンセルされます。




⚠ **注意：** モードの切り替え前に実行中のファイル保存処理またはデータ転送を完了するよう警告するメッセージが、[モード切り替え要求]画面に表示されます。フラッシュ ドライブや外付けハードディスク ドライブなどのストレージ デバイスを、オールインワン コンピューターの背面にあるどれかの USB ポートに接続している場合は、データの転送や、開いているファイルを保存して閉じる操作を、モードの切り替え前に完了しておく必要があります。完了しなかった場合、モードの切り替えによってデータが失なわれたり、データ ファイルが壊れたりします。

**注記：** HDMI ソースが接続されていない場合、オールインワン コンピューターは自動的にスリープ モードになります。オールインワン コンピューターがスリープ モードではなくスレート モードに自動的に切り替わるようにする場合は、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）で設定を変更できます。HDMI モードで、メニュー ボタンを押して OSD を表示し、**[Management]**（マネージメント）→**[Auto-Switch Input]**（自動入力切り替え）→**[On]**（オン）の順に選択します。

# 2　ハードウェアのセットアップ

コンピューターは机に設置することも、壁掛けまたは可動アームのような固定器具に取り付けることもできます。コンピューターは作業がしやすく通気のよい場所に置くようにしてください。コンピューターを固定器具に取り付けてからケーブルを接続します。

コンピューターを設置するには、コンピューターおよび取り付けられているすべての付属品の電源がオフになっていることを確認してから、お使いの構成に応じて以下の操作を行います。

## 机に設置する場合の準備

コンピューターを机に設置する場合の組み立て方法は以下のとおりです。

1. オールインワン コンピューターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いたテーブルまたは机に置きます。
2. スタンドを外側に引き出します。

3. コンピューターを直立した状態になるまで持ち上げ、平らで安定した場所に置きます。

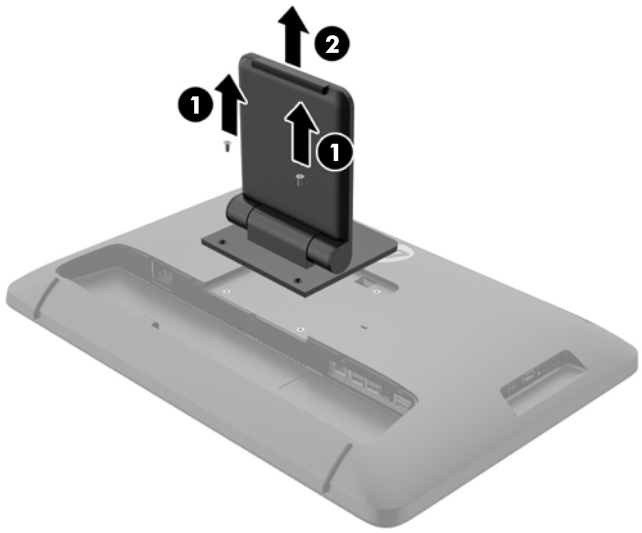
# 壁面に取り付ける場合の準備

**注記：** このコンピューターは、UL または CSA 準拠の壁への取り付け器具で支えられるように設計されています。

コンピューターを固定器具に取り付けるには、以下の操作を行います。

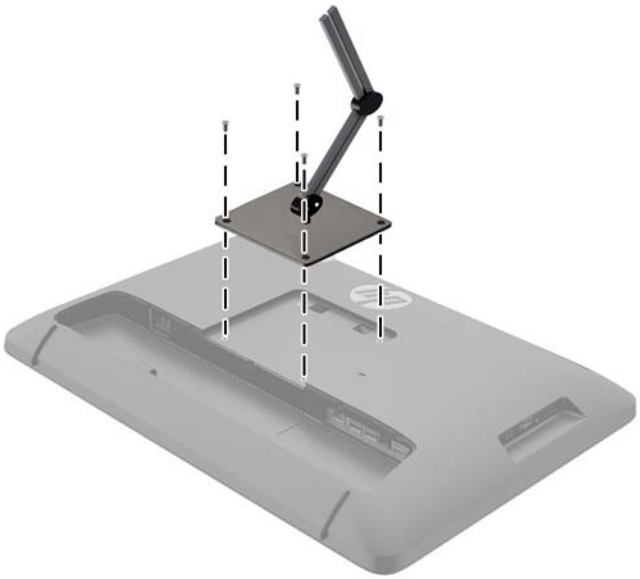
1. コンピューターの前面を下向きにして、柔らかく平らで安定した机またはテーブルの上に置きます。
2. スタンドを真上に持ち上げ、コンピューターにスタンドを取り付けているネジが見えるようにします。

3. 2 本のネジを取り外し（**1**）、スタンドをゆっくり持ち上げてコンピューターから取り外します（**2**）。



4. コンピューターの背面の VESA 準拠の取り付け穴の上に固定器具のネジ穴が重なるように置き、4 本の 10 mm ネジ（別売）を固定器具のネジ穴に通してからコンピューターのネジ穴に差し込みます。

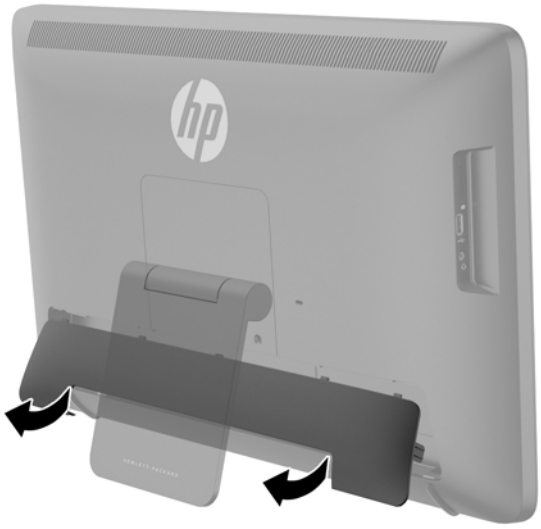
⚠ **注意：** このコンピューターは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。このコンピューターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、コンピューターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、コンピューター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、コンピューターに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。



# ケーブルの接続

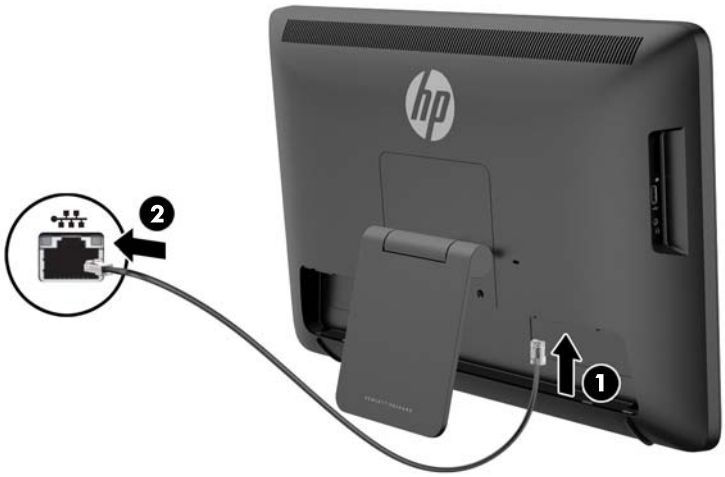
キーボードおよびマウスを使用するか、また有線（Ethernet）および無線のどちらの接続を使用するかによって、必要なケーブル接続は異なります。

1. コンピューターを、作業がしやすく通気のよい場所に置きます。
2. 背面の I/O カバーを取り外します。



3. 有線ネットワーク接続を使用する場合は、Ethernet ケーブルの一方の端をオールインワン コンピューター背面の Ethernet コネクタに接続し（**1**）、もう一方の端を有効な Ethernet コネクタに接続します（**2**）。

   詳しくは、20 ページの「有線ネットワークへの接続」を参照してください。



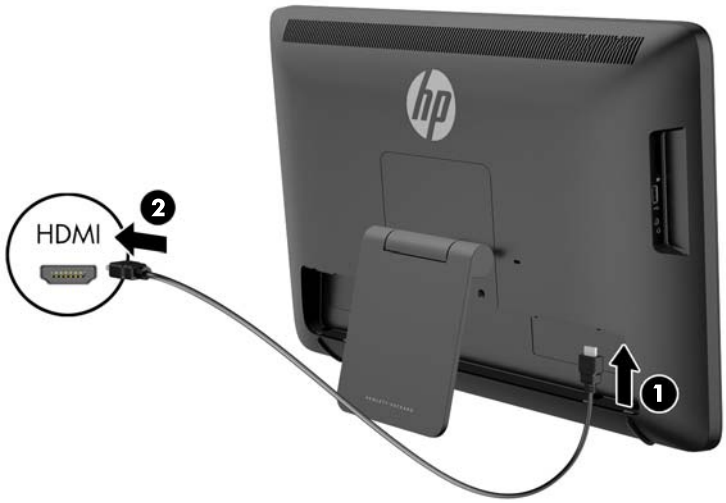
4. キーボードおよびマウスを接続する場合は、オールインワン コンピューターの電源を入れてから、オールインワン コンピューター背面の USB ポートに接続します。

**注記：** キーボードおよびマウスを接続する前に、オールインワン コンピューターの電源を入れる必要があります。

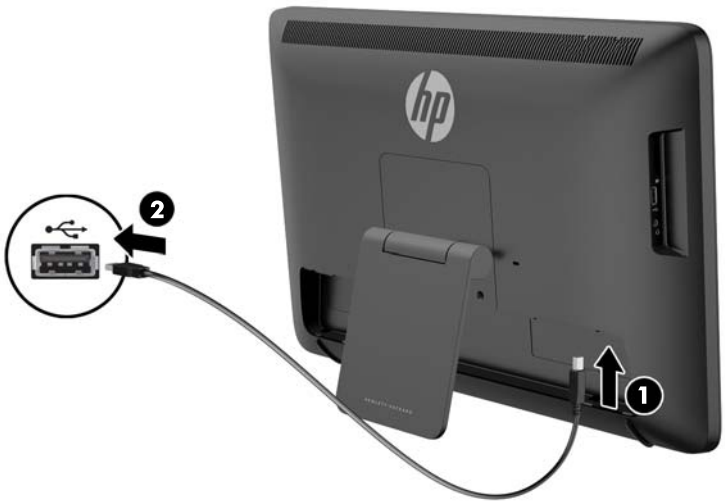
キーボードおよびマウスを HDMI モードで使用するには、それらを背面の USB ポートに接続する必要があります。

5. HDMI デバイスを接続する場合は、HDMI ケーブルの一方の端をオールインワン コンピューター背面の HDMI 入力端子に接続し（**1**）、もう一方の端を HDMI デバイスに接続します（**2**）。

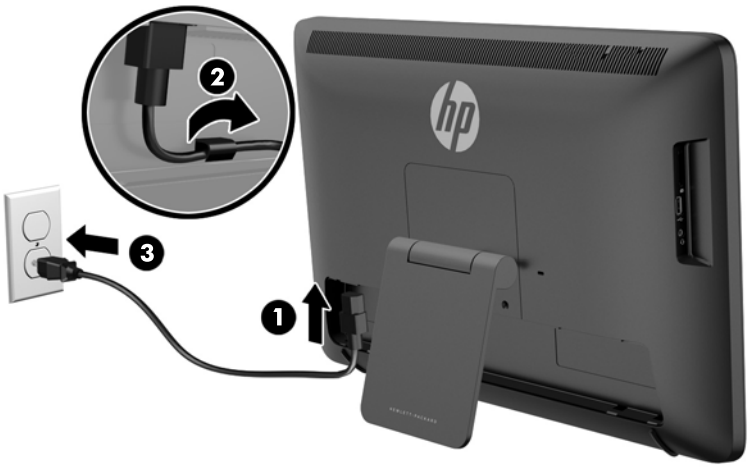
**注記：** HDMI デバイスを使用するには、HDMI モードに切り替える必要があります。



6. HDMI モードでキーボードおよびマウスを使用する場合、または HDMI モードで他のコンピューターを接続してタッチ機能をディスプレイで使用する場合は、USB ケーブルの一方の端をオールインワン コンピューター背面の USB アップストリーム ポートに接続し（**1**）、もう一方の端を他のコンピューターの USB ダウンストリーム ポートに接続します（**2**）。



7. 電源コードの一方の端をオールインワン コンピューター背面の外部電源コネクタに接続し（**1**）、コードを固定クリップに通してから（**2**）、もう一方の端を電源コンセントに接続します（**3**）。




⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

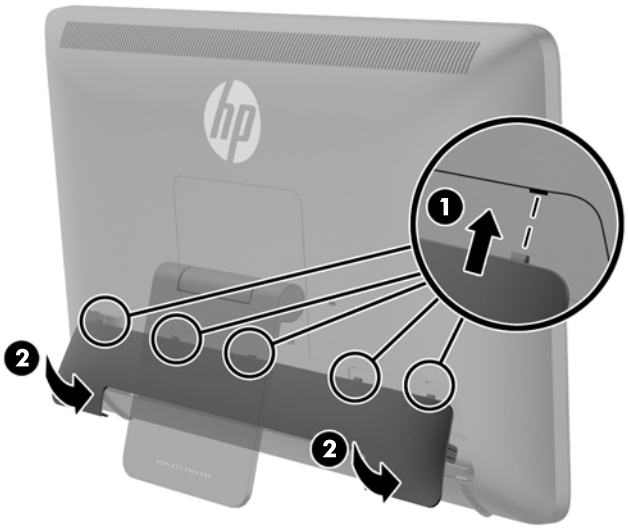
- 電源コードは常に、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

- オールインワン コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

- 電源コードに 3 ピンのアタッチメント プラグがある場合は、コードを 3 ピンのアースされた電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース ピンを使用して接地してください。アース ピンは重要な安全機能です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

8. ケーブル カバーの上部にあるタブを、ケーブル接続部のくぼみの上部にあるスロットにスライドさせて、ケーブル カバーをオールインワン コンピューター背面の元の位置に戻してから (1)、ケーブル カバーをカチッと音がするまで下方向に回転させてくぼみに押し込み (2)、オールインワン コンピューターの背面にしっかりと固定します。



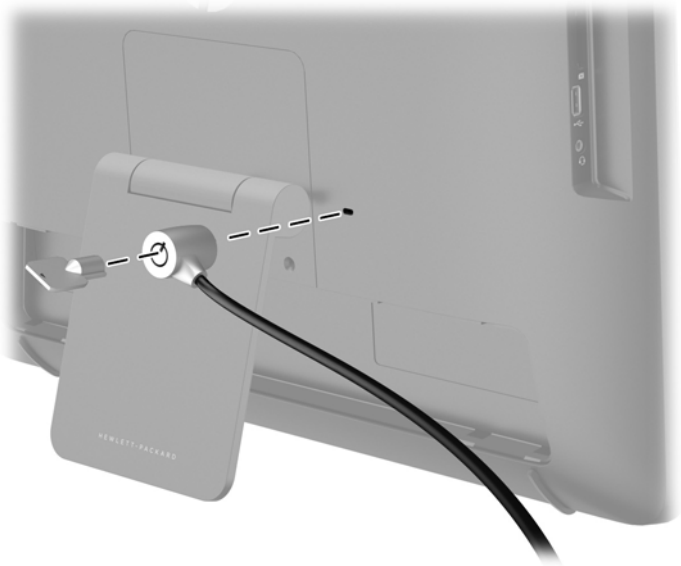

# 傾斜角度の調整

最適な状態で表示するために、好みに応じて画面の傾斜角度を調整します。

1. コンピューターの背面を正面に向け、傾斜角度の変更中に倒れないようにしっかり押さえます。
2. モニターに触れないようにして、スタンドを上下に回転させ、傾斜角度を変更します。

# ロック ケーブルの取り付け

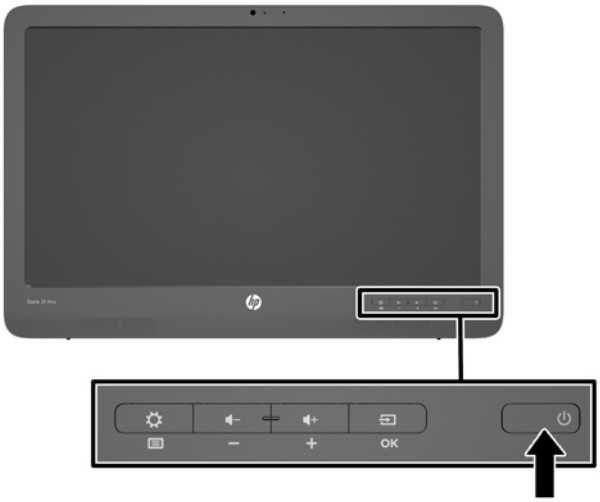
ロック ケーブル（別売）を使用して、オールインワン コンピューターを固定物に固定できます。



# コンピューターの最初の電源投入

**注記：** シームレスな操作環境を実現するためには、インターネット接続が必要です。コンピューターに電源を入れる前に、有線（Ethernet）または無線（Wi-Fi）のインターネット接続を確立できるよう準備しておいてください。

ケーブルを接続した後、オールインワン コンピューターの前面にある電源ボタンを押して、電源を入れます。



**注意：** モニターに長時間*一定の画像を表示したままにしておくと、残像が焼き付くことがあります。残像の焼き付きを防ぐには、長時間使用しないときはコンピューターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

* ここで長時間とは、使用されていない状態が 12 時間連続することを指します。

コンピューターの初回電源投入時には、起動ウィザードが起動します。起動ウィザードの説明に沿って、以下の操作を行います。

- 該当する言語を選択します
- ネットワーク設定を入力します。
- オールインワン コンピューターのバックアップが自動的に実行されるように設定します。オールインワン コンピューターのバックアップを実行することを強くおすすめします。バックアップがあると、ハードウェアの交換時に、可能な限りシームレスにシステムを復元できます。
- 日付と時刻を設定します。
- コンピューターを HP に登録します。

**注記：** 起動ウィザードに入力した設定は、起動バーの中央のアイコンからアクセスできる[すべてのアプリ]画面の[設定]から、いつでも変更できます。起動ウィザードの設定について詳しくは、28 ページの「Android の設定の調整」を参照してください。

パスワードなどのセキュリティ設定を行う場合は、[すべてのアプリ]画面の[設定]にアクセスします。

起動ウィザードが完了すると、ホーム画面が表示されます。

# USB デバイスの接続

オールインワン コンピューター背面にある 2 つの USB ポートと側面にある 1 つの USB ポートを使用して、USB デバイスをオールインワン コンピューターに接続できます。

**注記：** 側面の USB ポートはスレート モードでのみ動作します。HDMI モードでは動作しません。背面の USB ポートは両方のモードで動作します。

# タッチ スクリーンの使用

タッチ スクリーン デバイスでは指で画面上の項目を直接操作できます。

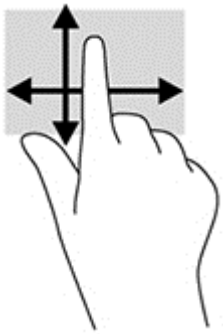
**ヒント：** タッチ スクリーン デバイスでは、キーボードおよびマウスでも、オンスクリーン アクションを実行できます。

**注記：** 他のコンピューターに接続しているときにタッチ機能を使用するには、さらに USB アップストリーム ケーブル（製品に付属）を使用して、オールインワン コンピューターの USB アップストリーム ポートと他のコンピューターの USB ダウンストリーム ポートを接続する必要があります。

## 1 本指スライド

1 本指スライドは、主に一覧やページをパンまたはスクロールするために使用しますが、オブジェクトの移動などの他の操作にも使用できます。

- 画面をスクロールするには、画面上で移動したい方向に 1 本の指を軽くスライドさせます。
- ドラッグするには、オブジェクトを押したまま、オブジェクトをドラッグして移動します。



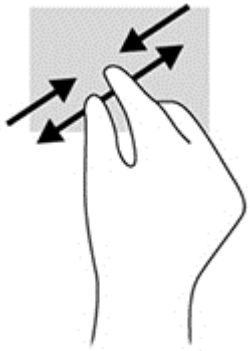
## タップ

画面上で選択するには、タップ機能を使用します。1 本の指で画面上のオブジェクトをタップする（軽くたたく）と、オブジェクトを選択または開くことができます。

## ピンチとストレッチによるズーム

指でつまむ動作のピンチおよび指を開く動作のストレッチにより、画像やテキストを拡大したり縮小したりするズームができます。

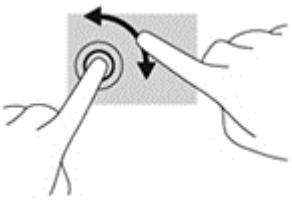
- ディスプレイで 2 本の指を近づけた状態にして、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームイン（拡大）できます。
- ディスプレイで 2 本の指を離した状態にして、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウト（縮小）できます。



## 回転

回転を使用すると、写真などを回転できます。

回転させるオブジェクトに左手の人差し指を固定します。右手の人差し指を 12 時から 3 時の位置へと弧を描きながらスライドさせます。逆方向へと回転させるには、人差し指を 3 時から 12 時の方向に動かします。

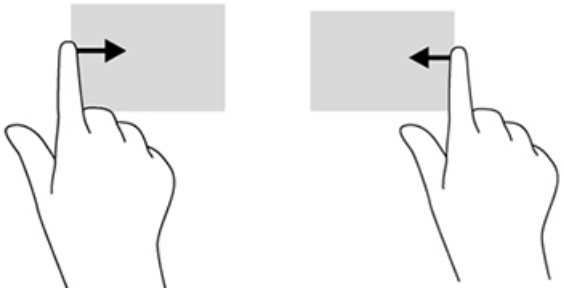


**注記：** 回転は、オブジェクトや画像を操作できる特定のアプリケーションを対象としています。回転は、一部のアプリケーションでは機能しない場合があります。

## スワイプ

スワイプで、画面やイメージをフリップすることができます。

ディスプレイの端から指をゆっくりと画面内に滑らせると、前の画面やイメージ、または次の画面やイメージを表示できます。



# ネットワークへの接続

有線（Ethernet）または無線（Wi-Fi）接続でネットワークに接続できます。Ethernet 接続と Wi-Fi 接続を同時に確立することはできません。

## 無線ネットワークへの接続

オールインワン コンピューターの無線ネットワーク機能では、通常 Wi-Fi ネットワーク、無線 LAN などと呼ばれる無線ローカル エリア ネットワークに接続できます。無線 LAN 内で、オールインワン コンピューターのモバイル無線モジュールは、無線ルーターまたは無線アクセス ポイントと通信します。

**注記：** 無線 LAN を設定し、インターネットに接続するには、ブロードバンド モデム（別売。DSL またはケーブル）、インターネット サービス プロバイダーから購入した高速インターネット サービス、無線ルーター（別売）が必要です。

無線ネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[Wi-Fi]**を選択します。
3. **[オン]**ボタンを選択して、無線電波をオンにします。
4. リストから無線 LAN を選択します。

   **注記：** 無線 LAN が見つからない場合は、無線ルーターまたはアクセス ポイントの範囲外にいる可能性があります。

5. 無線 LAN のセキュリティが有効になっている場合は、セキュリティ コードの入力を求められます。コードを入力してから、以下の操作を行います。
   - プロキシが不要な場合は、**[接続]**を選択します。
   - プロキシが必要な場合は、**[Show advanced settings]**（拡張オプションを表示）を選択します。[Proxy settings]（プロキシ設定）で、**[なし]**を選択してから**[Manual]**（手動で選択）を選択します。プロキシ設定を手動で入力して、**[接続]**を選択します。

## 有線ネットワークへの接続

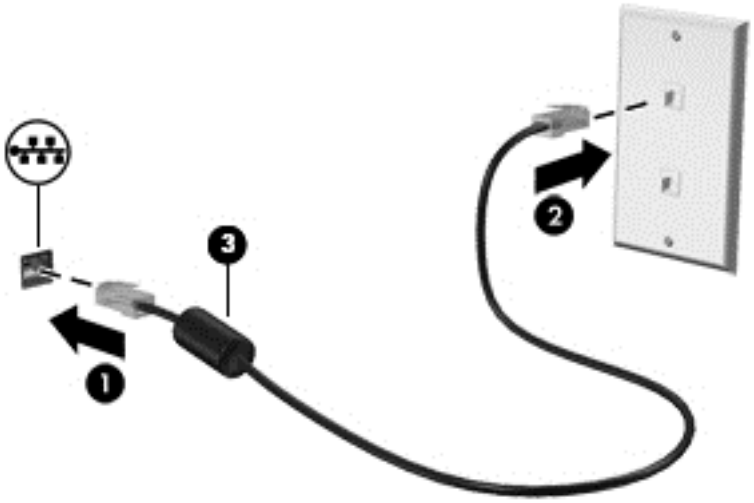
無線を使用せず、自宅のルーターにコンピューターを直接接続する場合や、オフィスの既存のネットワークに接続する場合は、LAN 接続を使用します。

LAN 接続を確立するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブルが 1 本必要です。

有線ネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルの一方の端をコンピューターのネットワーク コネクタ（**1**）に差し込みます。
2. もう一方の端を壁面のネットワーク コネクタ（**2**）またはルーターに接続します。

**注記：** ネットワーク ケーブルに、TV およびラジオの受信障害を防ぐノイズ抑制回路（**3**）が含まれている場合は、回路側の端をコンピューターに接続します。




3. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
4. **[Ethernet configuration]**（Ethernet 設定）を選択します。
5. **[ON]**（オン）ボタンを選択します。
6. **[Obtain IP Address Automatically (DHCP)]**（IP アドレスを自動で取得）または**[Configure IP Address Manually]**（IP アドレスを手動で設定）を選択します。
7. [Proxy settings]（プロキシ設定）で、**[なし]**を選択してから**[Manual]**（手動で選択）を選択します。
8. **[Proxy settings]**を手動で入力します。
9. **[Save]**（保存）ボタンを選択します。

## Bluetooth の使用

コンピューターには、パーソナル エリア ネットワーク（PAN）を作成し、コンピューター、電話、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなどの Bluetooth 対応デバイスに接続できるようにする Bluetooth 機能が用意されています。PAN 内で、各デバイスは他のデバイスと直接通信します。デバイス間の距離が 10 メートル（およそ 33 フィート）以内になるように、デバイス同士を近くに配置する必要があります。

Bluetooth デバイスとペアリングするには、以下の操作を行います。

1. Bluetooth デバイスを接続するために、Bluetooth デバイスの電源を入れます。
2. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
3. **[Bluetooth]**を選択します。
4. **[ON]**（オン）ボタンを選択します。
5. デバイス名を選択し、近くにあるすべての Bluetooth デバイスにこのデバイスが表示されるようにします。
6. 使用可能な Bluetooth デバイスを検索するには、**[デバイスの検索]**を選択します。
7. デバイスを選択し、画面の説明に沿ってデバイスをペアリングします。

# 3 スレート モードのユーザー インターフェイスの使用

オールインワン コンピューターに電源を投入すると、ホーム画面が表示されます。Android オペレーティング システムは、ほとんどのタスクをアプリを使って実行します。

**注記：** お使いのオペレーティング システムのユーザー インターフェイス アイコンは、このガイドで紹介するアイコンとは異なる場合があります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| | Google Apps | | Kingsoft Office |
| | Google Chrome | | Box |
| | 電子メール | | HP MyRoom |
| | Google カレンダー | | Citrix アプリ |
| | Google Play Store | | HP File Manager |
| | すべてのアプリ | | |

画面下部近くのアイコン行から、よく使用するアプリケーションにすばやくアクセスできます。

画面下部の黒いエリアにある 3 つのナビゲーション アイコンには、以下の機能があります。

| | |
|---|---|
| | 直前に開いていた画面に戻ります |
| | ホーム画面に戻ります |
| | 最近開いたアプリの一覧を表示します |

# ファイルの管理

[HP File Manager]は、ファイルの参照、コピー、削除、名前変更、印刷などの機能を、ローカル ストレージ、USB ドライブ、または SD カード上で実行できるファイル管理アプリです。ファイルを開くことができるアプリが複数インストールされている場合は、使用するアプリを[HP File Manager]で選択できます。

[HP File Manager]にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の**[File Manager]**（ファイル マネージャー）アイコンを選択します。
2. 左側のナビゲーション エリアでストレージ デバイスを選択し、そのデバイスのファイルおよびフォルダーにアクセスします。

# クラウド ストレージおよびファイル共有

## [Box.net]の使用

[Box]はオンライン ファイル共有およびクラウド コンテンツ ストレージ機能を提供するサービスで、オールインワン コンピューターからクラウド上のファイルのアクセス、表示、編集、および管理ができます。オールインワン コンピューターには[Box]がプリインストールされており、50 GB の無料クラウド ストレージを利用できます。

[Box]の使用を開始するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の**[Box]**アイコンを選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、[Box]に登録します。

[Box]の使用について詳しくは、https://www.box.com/ （英語サイト）を参照してください。

## [Google ドライブ]の使用

プリインストールされている[Google ドライブ]を使用すると、ファイルを 1 か所に保存できるため、どこからでもそのファイルにアクセスして他の人たちと共有できます。

[Google ドライブ]の使用を開始するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[Drive]**（ドライブ）アイコンを選択します。
2. 画面の説明に沿って操作します。

[Google ドライブ]の使用について詳しくは、https://drive.google.com/?hl=ja/ を参照してください。

# ビデオ会議

[HP MyRoom]は、プリインストールされたオンライン会議室です。顔を見ながらコミュニケーションしたり、便利なツールを使用してコラボレーションしたりできます。

[HP MyRoom]の使用を開始するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の**[HP MyRoom]**アイコンを選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、アカウントを作成します（すべてのユーザーがアカウントを持っている必要があります）。
3. [HP MyRoom]にログインしたら、**[Add Contact]**（連絡先の追加）ボタンをクリックして連絡先を追加し、その連絡先の電子メール アドレスを入力します。その人から連絡先として承認されると、[HP MyRoom]に接続できます。
4. 詳しい手順については、疑問符のボタンをクリックして、**[Documentation]**（ドキュメンテーション）を選択します。

**注記：** [Skype™]や[Google のハングアウト]を使用してビデオ会議を行うこともできます。

# [Kingsoft Office]の使用

[Kingsoft Office]では、[Microsoft® Word]、[Microsoft Excel]、[Microsoft PowerPoint]を使用したすべてのドキュメントを作成、表示、編集、および保存できます。ドキュメントの共有も簡単です。電子メール アプリを使用してドキュメントを添付ファイルとして送信し、ダウンロードして編集できます。また、WebDAV プロトコルを使用して、[Google ドライブ]、[Dropbox]、[Box.net]などのサービスにアクセスできます。

[Kingsoft Office]にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の**[Kingsoft Office]**アイコンを選択します。
2. 画面の上部にあるメニュー アイコンを使用して、ファイルを表示、作成、および共有します。

# Citrix アプリの使用

プリインストールされた Citrix アプリを使用して、オールインワン コンピューターを仮想デスクトップにすることができます。ホーム画面の**[Citrix]**アイコンを選択して、Citrix アプリにアクセスします。

## Citrix Receiver

[Citrix Receiver]を使用すると、オフィスにあるファイル、アプリ、およびデスクトップにアクセスして、外出時でもオフィスと同じように作業効率を高めることができます。

すべてのデバイスから簡単かつ確実にファイルやアプリにアクセスし、他の人たちと安全にファイルを共有できます。

Citrix がまだオフィスで使用されていない場合は、http://citrixcloud.net/ （英語サイト）のデモを使って機能を確認できます。

[Citrix Receiver]について詳しくは、http://www.citrix.co.jp/products/receiver/index.html?link_id=pcr/ を参照してください。

以下のアプリ（[GoToMeeting]、[GoToMyPC]、および[GoToAssist]）はプリインストールされていないため、Citrix の Web サイトからダウンロードする必要があります。

### GoToMeeting

Android デバイス上で[GoToMeeting]のビデオ会議を開始したり会議に参加したりして、モビリティを高めることができます。[GoToMeeting]は最も簡単で便利なオンライン会議ソリューションです。Android デバイスを使用して、さまざまな場所から[GoToMeeting]の会議に参加したり、会議を開始したりできます。

### GoToMyPC

[GoToMyPC]を使用すると、さまざまな場所からすぐに Mac やコンピューターにアクセスできます。離れた場所から簡単にファイル、プログラム、および電子メールにアクセスできるため、どのような場所でも生産性を高めることができます。

### GoToAssist

[GoToAssist]を使用すると、Android デバイスから直接リモート テクニカル サポートを提供できるため、すぐにコンピューターに接続して、クライアントの技術的問題を解決できます。ログインしたら、画面の説明に沿ってデバイス画面をタップしてサポート セッションを作成します。次に、ユーザーに対して、https://www.fastsupport.com/ （英語サイト）にアクセスし、リモート サポート ID を入力してサポート セッションにアクセスするか、ユーザーに招待状を送信して、電子メール経由で接続するよう指示します。ユーザーが接続を承認すると、そのユーザーにリモート サポートを提供できるようになります。

## モバイル デバイス管理（MDM）

このオールインワン コンピューターは Citrix に対応しており、[Citrix XenMobile]の管理機能をサポートしています。[XenMobile MDM]では、ロール ベースの管理、および企業やユーザーが所有するデバイスの設定とセキュリティ対策を、安全なエンタープライズ向け MDM アーキテクチャ上ですべて実行できます。たとえば、デバイスの登録と管理、ブラックリストやホワイトリストへのアプリの登録、セキュリティが破られたデバイスの検出、規制に従っていないすべてまたは一部のデバイスの無効化などを実行できます。

[IronMobile]、[SCCM]、[LANDesk]など他の MDM ソリューションを使用してこのオールインワン コンピューターを管理することもできます。

[Citrix XenMobile]にアクセスするには、ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[Citrix XenMobile MDM]**アイコンを選択します。

[XenMobile]について詳しくは、http://www.citrix.co.jp/products/xenmobile/overview.html を参照してください。

## [HP Classroom Manager]（学生版）の使用

このオールインワン コンピューターには、[HP Classroom Manager]（学生版）がプリインストールされています。[HP Classroom Manager]サービスの完全版（教師版と学生版を含む）を使用すると、教師が学生のアプリ、Web アクセス、および外付けデバイスを管理したり、学生の進捗状況や活動を監視したり、電源の節約、ファイルのやり取り、印刷費用の削減といったさまざまな機能を実行したりできます。このサービスには、別途契約が必要です。

[HP Classroom Manager]にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[HPCM Student]**（HPCM Student）アイコンを選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、教室にサインインします。

[HP Classroom Manager]について詳しくは、http://h20331.www2.hp.com/hpsub/cache/classmanager.html （英語サイト）を参照してください。

# インターネットの閲覧

このオールインワン コンピューターでは、[Google Chrome]などのブラウザー アプリを使用してインターネットを閲覧します。インターネットを閲覧するには、インターネットへのアクセスが必要です。

**注記：** [Google Chrome]はプラグインをサポートしていません。

インターネットを閲覧するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターに接続された無線ネットワークまたは Ethernet ケーブル（製品には付属していません）からインターネットに接続できることを確認します。
2. ホーム画面の[Google Chrome]アイコン を選択するか、ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン →[Browser]（ブラウザー） アイコンの順に選択します。
3. ブラウザーを使用してインターネットを閲覧します。

[Google Chrome]の閲覧履歴をクリアするには、以下の操作を行います。

1. [Google Chrome]を起動します。
2. アドレス バーに `chrome:history` と入力します。
3. **[閲覧履歴データの消去]**を選択します。

# メディアの再生

再生アイコンを使用して、USB フラッシュ メディア デバイスまたはメディア カード上の音楽、ビデオ、および写真を再生するアプリケーションを起動することができます。再生アイコンを使用して、カメラにアクセスすることもできます。

**注記：** オーディオ ファイル名およびフォルダー名は任意の長さにできますが、特殊文字およびスペースを含めるとファイル マネージャーがオーディオ ファイルを認識できなくなります。

メディア ファイルを再生または表示するには、以下の操作を行います。

1. メディアが含まれているメディア デバイスを、コンピューターの SD カード リーダーまたは USB ポートに挿入します。
2. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[HP Media Player]**アイコンを選択します。
3. 再生または表示するメディア タイプのアイコンを選択します。
4. メディア ファイルを検索します。
5. 再生するファイルを選択します。
6. 画面下部のコントロールを使用して、必要に応じてファイルの再生を停止、開始、または一時停止したり、ファイルを変更または編集したりします。

**注記：** 音楽アプリケーションで停止するまで、音楽は再生され続けます。

# カメラの使用

カメラを使用して、写真を撮ったり、ビデオを録画したりできます。写真またはビデオをプレビューし、保存することもできます。

カメラを使用するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[Camera]**（カメラ）を選択します。
2. 画面右側のコントロールを使用して、写真を撮影またはビデオを録画します。

# 印刷

[HP ePrint]を使用すると簡単に印刷を実行できますが、[HP ePrint]で印刷したドキュメントは元のドキュメントと異なった見栄えになる場合があります。スタイル、書式設定、およびテキスト フローは元のドキュメントと少し異なる場合があります。より高い品質が求められるドキュメント（法律関係書類など）については、印字出力結果をより細かく制御できるようにお使いのコンピューターのソフトウェア アプリケーションから印刷することをおすすめします。

[HP ePrint]を使用すれば、ほとんどどのような場所からでも、[HP ePrint]をサポートしている HP プリンターに対して印刷を実行できます。[HP ePrint]を有効にすると、お使いのプリンターに電子メールアドレスが割り当てられます。印刷を実行するには、ドキュメントを添付した電子メールをそのプリンターのアドレス宛てに送信します。互換性および詳細については、http://www.hp.com/go/ePrintCenter/ を参照してください。

[HP ePrint]を設定するには、以下の操作を行います。

1. [ホーム]画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[アカウントを追加]**を選択します。
3. **[HP ePrintd]**を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。

## ブラウザーでの印刷

ブラウザーで印刷するには、画面の右上隅にある**[メニュー]**アイコンを選択し、**[印刷]**を選択します。

# Android の設定の調整

設定するには、[ホーム]画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。

## 日付および時刻の設定

日付/時刻の設定では、コンピューターの日付および時刻を設定できます。

日付および時刻を設定するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[日付と時刻]**を選択します。

**注記：** 設定リストを下へスクロールして、**[日付と時刻]**を表示します。

3. 日付および時刻を手動で設定するには、**[Automatic date & time]**（日付と時刻の自動設定）ボックスおよび**[タイム ゾーンの自動設定]**ボックスをオフにします。
4. 日付を手動で設定するには、**[Set date]**（日付の設定）を選択します。
5. 時刻を手動で設定するには、**[Set time]**（時刻の設定）を選択します。

## セキュリティ設定

コンピューターには、いくつかのセキュリティ設定があります。

セキュリティを設定するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[セキュリティ]**を選択します。
3. 設定する項目を選択し、画面の説明に沿って操作します。

### 画面のロック

一定の時間使用していないコンピューターの画面がロックされるように設定できます。ロックを解除するために実行する必要があるアクションを選択できます。

画面ロック機能を設定するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[セキュリティ]**を選択します。
3. **[ロック画面]**を選択します。
4. 画面ロックを解除するために必要なアクションを選択します。

### 暗号化

アカウント、設定、ダウンロードしたアプリケーションおよびデータ、メディア、その他のファイルを暗号化することができます。コンピューターを暗号化した場合、電源を入れるたびに暗号化を解除する PIN またはパスワードを入力する必要があります。

**注記：** 暗号化プロセスは、完了までに長時間かかることがあります。

**注意：** 暗号化の設定の完了後、設定を解除するには、工場出荷時設定へのリセットを実行するしかありません。

暗号化と電源投入時パスワードを設定するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[セキュリティ]**を選択します。
3. **[タブレットを暗号化]**を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。

## サウンド設定

コンピューターの[設定]画面から、[DTS Sound+]を設定できます。

[DTS Sound+]を設定するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[DTS Sound+]**を選択します。
3. **[オン]**ボタンを選択して、[DTS Sound+]をオンにします。
4. サウンド タイプを選択します。

## 言語

言語を変更するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[言語と入力]**を選択します
3. **[言語]**を選択します。
4. 言語を選択します。

## ソフトウェアのアップデート

コンピューターは定期的にソフトウェアのアップデートをチェックしています。ユーザーが手動でアップデートをチェックすることもできます。

システム アップデートをチェックするには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[タブレット情報]**を選択します。

**注記：** 設定リストを下へスクロールして、**[タブレット情報]**を表示します。

3. **[System updates]**（システム アップデート）を選択します。
4. アップデートをチェックするには、**[Check Now]**（今すぐ確認）ボタンを選択し、画面の説明に沿って操作します。

# 外付けキーボードの言語の設定

オールインワン コンピューターをセットアップするときは、スレート モードのホーム画面が表示されるまで USB キーボードを接続しないでください。

キーボード言語をセットアップするには、以下の操作を行います。

1. 背面にある USB ポートにキーボードを接続します。
2. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
3. **[Language and Input]**（言語と入力）を選択します。
4. **[Physical Keyboard]**（物理キーボード）で、**[Lite-On Technology Corp HP Android Wired Keyboard]**を選択します。
5. 表示された画面で、**[Set up keyboard layouts]**（キーボード レイアウトのセットアップ）を選択します。
6. 言語を選択します。
7. **[ホーム]**アイコンを選択して、ホーム画面に戻ります。

# IME（入力方式エディター）の有効化

ヘブライ語、アラビア語、タイ語、韓国語、拼音、中国語（注音または ChanJie）、日本語の仮想および外部キーボード、および入力方式を追加できます。 言語を選択するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[言語と入力]**を選択します
3. **[キーボードと入力方法]**で、**[More keyboards]**（その他のキーボード）を選択します。
4. **[Default]**（初期設定）を選択し、**[More keyboards]**を選択します。
5. **[More keyboards]**アイコンを選択します。
6. **[More keyboard settings]**（その他のキーボード設定）メニューで、**[IME and keyboard settings]**（IME およびキーボード設定）→**[Primary IME]**（プライマリ IME）を選択し、言語を選択します。
7. **[More keyboard]**設定メニューに戻ります。**[IME およびキーボード設定]**で、**[Enable IME]**（IME の有効化）を選択し、セカンダリ言語を選択して**[OK]**ボタンを選択します。

**役に立つヒント**

仮想キーボードの言語を切り替えるには、以下の操作を行います。

- 選択済みの言語のキーまたは EN/US（English/US）キーを押して、選択済みの言語と英語を切り替えます。
- 言語キーを押したままにすると、ポップアップ ウィンドウに使用可能な言語のリストが表示されます。

以下のキーの組み合わせを使用して、アクションを実行します。

| キーの組み合わせ | 動作 |
|---|---|
| Caps Lock | 大文字と小文字の切り替え |
| Alt + Shift | 有効になっている IME を切り替えます |
| Ctrl + Space | プライマリ IME とセカンダリ IME を切り替えます |

仮想キーボードを非表示にするには、キーボード アイコン をクリックします。

繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、および日本語の仮想モードでの手書き認識を選択するには、手書き認識アイコン を選択します。

# ホーム画面の壁紙の変更

プリインストールされている静止画像やアニメーション画像、または[ギャラリー]から壁紙を選択できます。

ホーム画面に表示されている壁紙を変更するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[ディスプレイ]**→**[壁紙]**の順に選択します。
3. **[ギャラリー]**、**[Live Wallpapers]**（ライブ壁紙）、または**[壁紙]**から壁紙を選択します。
4. 壁紙を選択したら、**[Set wallpaper]**（壁紙を設定）を選択します。

# ホーム画面上のアプリの整理

ホーム画面にアプリを追加するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択します。
2. ホーム画面が表示されるまでアプリに触れたままにし、アプリを適切な場所にドラッグして指を離します。

アプリのアイコンをホーム画面上の別の場所に移動するには、以下の操作を行います。

1. アイコンに触れたままにします。
2. 指で目的の位置までアイコンをドラッグします。
3. 指を離します。アイコンが目的の位置に配置されます。

ホーム画面からアプリを削除するには、以下の操作を行います。

1. アイコンに触れたままにします。
2. アイコンに触れたまま、そのアイコンを画面上部の**[Remove]**（削除）アイコンにドラッグします。

**注記：** 削除オプションは、アイコンに触れたままにしているときにのみ、画面の上部に表示されます。

# バックアップおよびリセット

コンピューターのアプリケーション データをバックアップし、アプリケーションの再インストール時にバックアップ設定およびデータを復元するように設定できます。

コンピューターの個人データをすべて消去することもできます。

## バックアップと復元

バックアップおよび復元を設定するには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[バックアップとリセット]**を選択します。
3. 有効にする設定の横のボックスをオンにします。

## データの初期化

オールインワン コンピューターを工場出荷時設定にリセットできます。工場出荷時設定にリセットすると、オールインワン コンピューターの内蔵ストレージからすべてのデータが消去されます。

工場出荷時設定にリセットするには、以下の操作を行います。

1. ホーム画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します。
2. **[バックアップとリセット]**を選択します。
3. **[ユーザー設定]**の**[データの初期化]**を選択します。
4. **[Reset tablet]**（タブレットをリセット）を選択します。

# 4 HDMI モードでのオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を使用して、ユーザーの好みに応じて画面表示を調整します。OSD にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. HDMI モードでない場合は、HDMI モードに切り替えます（詳しくは、5 ページの「スレートモードと HDMI モードの切り替え」を参照してください）。
3. OSD メニューにアクセスするには、モニターのフロント パネルにある Menu（メニュー）ボタンを押します。
4. OSD メニュー内を移動するには、モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。
5. OSD メニューから項目を選択するには、＋ボタンか－ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、OK ボタンを押して機能を選択します（OK ボタンはお使いのモデルとは異なる可能性があります）。
6. フロント パネルの＋ボタンか－ボタンを押してスケールを調整します。
7. 機能を調整したら**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択します。または、設定を保存しない場合は、**[Cancel]**（キャンセル）→**[Main Menu]**（メイン メニュー）→**[Exit]**（終了）の順に選択します。

**注記：** メニューが表示されているときに 10 秒以上ボタンを押さないと、自動的にすべての変更が保存され、OSD が終了します。

以下の表で、OSD メイン メニューの各項目について簡単に説明します。

| アイコン | メイン メニュー | 説明 |
|---|---|---|
| | Brightness（輝度） | 画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期値は 90 です |
| | Contrast（コントラスト） | 画面のコントラスト レベルを調整します。工場出荷時の初期値は 80 です |
| | Color（色） | 画面の色を選択および調整します |
| | Image Control（イメージ コントロール） | 画像を調整します |
| | OSD Control（OSD コントロール） | OSD コントロールを調整します |
| | Management（マネージメント） | モニターの電源管理機能、オーディオ機能、およびタイマー機能を調整します |
| | 音量 | 音量を調整します |

| アイコン | メイン メニュー | 説明 |
|---|---|---|
| | Information（情報） | モニターに関する重要な情報を選択/表示します |
| | Factory Reset（出荷時設定にリセット） | すべての OSD メニュー設定および DDC/CI サポートの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。ただし、言語設定は除きます |
| | Exit（終了） | OSD メニュー画面を終了します |

# 電源ボタンのロックアウト

「電源ボタンのロックアウト」は、電源ボタンをロックして使用できないようにする機能です。電源ボタンをロックするには、モニターの電源が入っているときに、電源ボタン、音量ダウン ボタン、および音量アップ ボタンを 10 秒間同時に押し続けます。電源ボタンがロックされると、[Power Button Lockout]（電源ボタンのロックアウト）というオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メッセージが 10 秒間表示されます。ロックされている電源ボタンを押すと、[Power Button Lockout]（電源ボタンのロックアウト）という OSD メッセージが 10 秒間表示されます。

電源ボタンがロックされているときに、電源ボタン、音量ダウン ボタン、および音量アップ ボタンを 10 秒間同時に押し続けると、電源ボタンの機能がロック解除され、モニターの電源が切れます。電源ボタンを押すと、ボタンを離すまでモニターの電源は入ったままになります。電源ボタンがロックされ、モニターの電源が切れている場合でも、電源ボタンは引き続き機能し、モニターの電源を入れることができます。

**注記：** 「電源ボタンのロックアウト」は、HDMI モードとスレート モードの両方に適用されます。

# オンスクリーン ディスプレイ（OSD）のロックアウト

「OSD のロックアウト」は、OSD をロックして使用できないようにする機能です。OSD をロックするには、メニュー ボタンを 10 秒間押し続けます。OSD がロックされると、[OSD Lockout]（OSD のロックアウト）という OSD メッセージが 10 秒間表示されます。OSD がロックされているときに OSD ボタンをどれか押すと、[OSD Lockout]（OSD のロックアウト）という OSD メッセージがさらに 10 秒間表示されます。OSD がロックされているときにメニュー ボタンを 10 秒間押し続けると、OSD がロック解除されてメイン メニューが表示されます。

**注記：** 「OSD のロックアウト」は、HDMI モードとスレート モードの両方に適用されます。

# 5　安全および保守に関するガイドライン

## 安全に関する重要な情報

コンピューターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。コンピューターに接続する適切な電源コードについては、47 ページの「電源コードについて」を参照してください。

⚠ **警告！**　感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト、http://www.hp.com/ergo/ （英語サイト）から[日本語]を選択することで参照できます。また、コンピューターに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

⚠ **注意：**　コンピューターの保護のために、コンピューターおよび周辺装置のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。マルチソケット等を選ぶときは、サージ防止に失敗した場合に機器の交換保証が適用される製品かどうかを確認することも強くおすすめします。

お使いの HP コンピューターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ **警告！**　化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にコンピューターを不用意に置いた場合、コンピューターが倒れて怪我をするおそれがあります。

コンピューターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

# 保守に関するガイドライン

コンピューターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- コンピューターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみ使用してください。正常に動作しない場合や、コンピューターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、コンピューター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- コンピューターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っぱって抜かないでください。
- 使用しないときは、コンピューターの電源を切るようにしてください。そうすることで、コンピューターを長くお使いいただけます。

**注記：** 画面に「焼き付き」が生じてしまったコンピューターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- コンピューターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- コンピューターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないでください。
- コンピューターのスタンドを取り外すときは、コンピューターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

## コンピューターの清掃

1. コンピューターの電源を切って、背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、コンピューターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピル アルコールを 50：50 に混合した溶液を使用します。

**注意：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまい、電子部品が損傷するおそれがあります。

**注意：** ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーを画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、コンピューターが損傷するおそれがあります。

## コンピューターの運搬

コンピューターを運搬する場合は、出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

# 6 よくある質問

| 質問 | 回答 |
|---|---|
| インターネットを閲覧するには、どうしたらいいですか? | 有線（Ethernet）または無線（Wi-Fi）ネットワークに接続し、2 つのインストール済みブラウザーのうちどちらかを使用します<br><br>インターネット接続が確立されたら、[ホーム]画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択します。[Chrome]および[Browser]のどちらかのブラウザーを選択します。どちらかのブラウザーにタッチすると、インターネットの閲覧がスタートします |
| お気に入りのアプリなど、ソフトウェアをインストールするにはどうしたらいいですか? | Google Play ストアでコンピューター用の Android アプリケーションを探します。Google Play ストアは、無料および有料のコンテンツをダウンロードできるオンライン マーケットプレースです |
| [Adobe Flash Player]をインストールするには、どうしたらいいですか? | 手順については、http://helpx.adobe.com/jp/flash-player/kb/cq01160102.html を参照してください |
| インターネット接続なしでもコンピューターを使用できますか? | はい、一部のアプリケーションおよびメディア機能はオフラインでも実行できます<br><br>インターネット接続なしで利用できるアプリケーションもあります。たとえば、プリインストールされている[HP Media Player]アプリケーションでは、イメージや写真の表示、音楽の再生、カメラの使用が可能です |
| ファイルを開くには、どうしたらいいですか? | そのファイルに関連付けられたアプリケーションで開くことができます<br><br>また、オールインワン コンピューターにプリインストールされている[HP File Manager]アプリを使用して、ファイルを選択して開くこともできます |
| ファイルは、コンピューターのどこに保存されるのですか? | ローカル ストレージ、SD メモリ カード、USB フラッシュ ドライブ、またはオンラインの（クラウド）ストレージに保存できます |
| 印刷するには、どうしたらいいですか? | [HP ePrint]アプリまたは[Google クラウド プリント]を使用して、オールインワン コンピューターから無線で印刷できます |
| コンピューターに Bluetooth デバイスを接続できますか? | はい、多くの Bluetooth デバイスはコンピューターと互換性があります |

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| オールインワン コンピューターの Wi-Fi MAC アドレスはどこで確認できますか? | MAC アドレスは、[設定]メニューの**[タブレット情報]**セクションの**[Status]**（ステータス）で確認できます<br>1. [ホーム]画面の[すべてのアプリ]アイコン を選択し、**[設定]**を選択します<br>2. **[システム]**セクションの**[タブレット情報]**を選択します<br>3. **[Status]**を選択します<br>Wi-Fi MAC アドレスが一覧表示されます |
| コンピューターに別のオペレーティング システムをインストールすることはできますか? | オールインワン コンピューターでサポートされているオペレーティング システムは、Android 4.3 のみです |

# 7 製品サポート

オールインワン コンピューターの使用方法について詳しくは、http://www.hp.com/support/ を参照してください。国または地域を選択し、**[製品サポート/保守情報]**を選択してから、検索フィールドに「HP Slate 21 Pro」と入力して、**[検索]**ボタンをクリックします。

**注記：** 操作説明書、リファレンス ガイド、およびドライバーは、http://www.hp.com/support/ から入手できます。

HDMI ケーブル、Ethernet ケーブル、およびインターネット アクセスは付属していません。

このガイドに記載されている情報では問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

以下の作業を実行できます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

  **注記：** 特定の言語でチャット サポートを使用できない場合は、英語で使用できます。

- HP のサポート窓口の電話番号を調べる
- HP のサービス センターを探す

**製品の製造から出荷までの間に更新された可能性のある最新バージョンのソフトウェアやドキュメントを確認するには、HP の Web サイトを参照してください。この製品用のアプリを、すべての地域または国で使用できるとは限りません。**

# 8 技術仕様

**注記：** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。仕様は変更されることがあります。ディスプレイ製品の完全かつ最新の仕様は、http://www.hp.com/support/ で入手できます。

## HP Slate 21 Pro All-in-One

| | |
|---|---|
| 最大質量（非梱包時） | 6.0 kg（13.2 ポンド） |
| **寸法（スタンドを含む）** | |
| 高さ | 36.6 cm（14.4 インチ） |
| 奥行き | 8.3 cm（3.3 インチ） |
| 幅 | 53.1 cm（20.9 インチ） |
| **温度範囲** | |
| 動作温度 | 5～35°C（41~95°F） |
| 非動作時温度 | -20～60°C（-4~140°F） |
| **湿度** | |
| 動作時（結露せず） | 20～80% |
| 非動作時（最高湿球温度は 38.7°C） | 5～95% |
| **動作保証高度** | |
| 動作時 | 0～5,000 m（0～16,400 フィート） |
| 非動作時 | 0～12,192 m（0～40,000 フィート） |
| 最適グラフィックス解像度 | 1920×1080 |
| 電源 | 100～240 VAC、50/60 Hz |
| プロセッサ速度 | クワッドコア 1.66 GHz（デュアルコア/シングルコア モード、最大 1.8 GHz） |
| フラッシュ ストレージ | 16 GB |
| メモリ | 2 GB DDR3-800 MHz SDRAM |
| HDMI | 入力端子（×1） |
| USB 2.0 ポート | ダウンストリーム（×3）およびアップストリーム（×1） |
| オーディオ出力/マイク兼用コネクタ | ヘッドフォン/ヘッドセットをサポート |
| オペレーティング システム | Android 4.3 |
| イメージ/コンポーネントの更新 | OverTheAir（OTA）ソフトウェアの更新 |
| インターネット ソリューション（ブラウザー） | [Google Chrome]および[Android]ブラウザー |
| ビデオ プレーヤー | サポート |

| | |
|---|---|
| オーディオ プレーヤー | サポート |
| 写真フレーム | サポート |
| ビデオ コーデック | H.263、DivX、H.264 AVC、MPEG-4、VP8 |
| ビデオ コンテナー | .mp4、.3gp、.divx、.mkv、.m4v、.mov、.ts、.webm |
| オーディオ コーデック | AAC、AMR、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、MP2、AC-3、DTS |
| オーディオ コンテナー | .mp4、.m4a、.m4b、.aac、.amr、.flac、.mp3、.mid、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.my、.ogg、.wav、.mp2、.3gp、.3g2 |
| イメージ コーデック | JPEG、GIF、PNG、BMP、WEBP |
| イメージ コンテナー | .jpg、.jpeg、.gif、.png、.bmp、.webp |
| 生産性：ドキュメント ハンドラー | Kingsoft Office |
| 外付け入力デバイス | SD（Secure Digital）カード リーダー |
| VESA 準拠の取り付け | 100 mm×100 mm |

推奨される USB およびカード リーダー ストレージ デバイスの一覧は、『HP Slate 21 Pro All-in-One Quickspecs』（英語ドキュメント）を参照してください。

**注記：** ストレージ デバイスのフォーマットは FAT16/32、ExFAT、または NTFS を推奨します。

# エナジー セーブ機能

このコンピューターでは、省電力状態もサポートされます。一定の時間使用していない状態が続くと、省電力状態になります。省電力状態では、コンピューターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ボタンのランプが点滅します。省電力状態になると、1 W 未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

# A　規定に関するご注意

お使いのオールインワン コンピューターには、無線デバイスが内蔵されている場合があります。特定の環境において、無線デバイスの使用が制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内などです。この製品の使用制限に関する方針が不明な場合は、製品の電源を入れる前にその場所の管理者や責任者の承諾を得てください。

## Federal Communications Commission notice（米国向け）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

### Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

### Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

## Declaration of Conformity for products marked with the FCC Logo（米国向け）

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

# Products with wireless LAN devices

This device must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

⚠ **警告！ Exposure to Radio Frequency Radiation** The radiated output power of this device is below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device should be used in such a manner that the potential for human contact is minimized during normal operation of tablet PCs and notebook computers.

To avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antennas should not be less than 20 cm (8 inches), including when the computer display is closed. To identify the location of the wireless antennas, refer to the computer user guides included with your computer.

⚠ **注意:** When using IEEE 802.11a wireless LAN, this product is restricted to indoor use, due to its operation in the 5.15- to 5.25-GHz frequency range. The FCC requires this product to be used indoors for the frequency range of 5.15 GHz to 5.25 GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems. High-power radar is allocated as the primary user of the 5.25- to 5.35-GHz and 5.65- to 5.85-GHz bands. These radar stations can cause interference with and/or damage to this device.

# Brazil notice（ブラジル向け）

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Este equipamento atende aos limites de Taxa de Absorção Específica referente à exposição a campos elétricos, magnéticos e eletromagnéticos de radiofreqüências adotados pela ANATEL.

# Canadian notices（カナダ向け）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations, CAN ICES-3(B)/NMB-3(B). If this device has WLAN or Bluetooth capability, the device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

⚠ **警告！** Exposure to Radio Frequency Radiation: The radiated output power of this device is below the Industry Canada radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device should be used in such a manner that the potential for human contact is minimized during normal operation.

To avoid the possibility of exceeding the Industry Canada radio frequency exposure limits, human proximity to the antennas should not be less than 20 cm (8 inches), including when the computer display is closed. To identify the location of the wireless antennas, refer to the computer user guides included with your computer.

⚠ **注意:** When using IEEE 802.11a wireless LAN, this product is restricted to indoor use, due to its operation in the 5.15- to 5.25-GHz frequency range. Industry Canada requires this product to be used indoors for the frequency range of 5.15 GHz to 5.25 GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems. High-power radar is allocated as the primary user of the 5.25- to 5.35-GHz and 5.65- to 5.85-GHz bands. These radar stations can cause interference with and/or damage to this device.

The antennas for this device are not replaceable. Any attempt at user access will damage your computer.

# European Union regulatory notices（欧州連合向け）

Products bearing the CE marking comply with one or more of the following EU Directives as may be applicable:

CE

- Low Voltage Directive 2006/95/EC; EMC Directive 2004/108/EC; Ecodesign Directive 2009/125/EC; R&TTE Directive 1999/5/EC; RoHS Directive 2011/65/EU
- Compliance with these directives is assessed using applicable European Harmonised Standards.
- The full Declaration of Conformity can be found at the following web site: http://www.hp.eu/certificates.
- (Search with the product model name or its Regulatory Model Number (RMN), which may be found on the regulatory label.)

The point of contact for regulatory matters is Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS:HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

## Products with wireless functionality (EMF)

This product meets international guidelines (ICNIRP) for exposure to radio frequency radiation.

This product incorporates a radio transmitting and receiving device. For notebook computers in normal use, a separation distance of 20 cm ensures that radio frequency exposure levels comply with EU requirements. Products designed to be operated at closer proximities, such as tablet computers, comply with applicable EU requirements in typical operating positions, but a minimum distance of 1 cm should be maintained from the antennas.

### Restrictions for product with wireless functionality

This product is designed for use without restrictions in all EU countries, plus Iceland, Liechtenstein, Norway, and Switzerland.

## German ergonomics notice（ドイツ向け）

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

## Australia and New Zealand notice（オーストラリアおよびニュージーランド向け）

This equipment incorporates a radio transmitting and receiving device. In normal use, a separation distance of 20 cm ensures that radio frequency exposure levels comply with the Australian and New Zealand Standards.

## 日本向け

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：日本ヒューレット・パッカード株式会社　ＴＥＬ：０１２０－０１４１２１

5 GHz帯を使用する特定無線設備（802.11a相当）は屋内使用に限られています。この機器を屋外で使用することは電波法で禁じられています。

### 無線 LAN、無線 WAN、および Bluetooth 認定マーク

この機器は、技術基準適合証明または工事設計認証を受けた無線設備を搭載しています。

## South Korean notices（韓国向け）

| | |
|---|---|
| B급 기기<br>(가정용 방송통신기기) | 이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다. |

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음 (무선모듈제품이 설치되어 있는 경우).

## Mexico notice（メキシコ向け）

Declaración para México

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

## Taiwan NCC notices（台湾向け）

### Wireless LAN 802.11a devices

在5.25G ~5.35G頻帶內操作之無線
資訊傳輸設備僅適於室內使用

## Wireless LAN 802.11 devices/Bluetooth devices/Short range devices

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

# 電源コードについて

このコンピューターの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、コンピューターは 100～120 V または 200～240 V の AC 電圧で動作します。

このコンピューターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、導体の断面積は 0.8 mm²/18 AWG 以上、コードの長さは 1.8～3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

## 日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

⚠ **注意：** 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

# 製品環境に関するご注意

## 国際エネルギー スター プログラムへの準拠

当社は、国際エネルギー スター プログラムの事業参加者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合するように、米国環境保護局（EPA）が定める強化された製品認定および認証プロセスに従っています。

以下のロゴは正規の国際エネルギー スター プログラム認定のすべてのコンピューターに付けられています。

ディスプレイおよびコンピューター用のエネルギー スター プログラムの仕様は、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として作成されたものです。このため、HP の製品には、Microsoft® Windows®の電源管理機能によって、製品を使用していないときにエネルギー消費を削減する省電力機能が搭載されています。

電源管理機能によって、一定の時間使用していない状態が続くと、コンピューターが省電力モードまたは「スリープ」モードに切り替わります。また、エネルギー スター プログラムの認定を受けた外部ディスプレイを接続して電源管理機能を使用する場合、この機能では、ディスプレイの類似の電源管理機能もサポートされます。この機能を活かすには、ユーザーはエネルギー スター認定のコンピューターおよびディスプレイで提供されている電源管理の初期設定を使用する必要があります。システムが外部電源で動作している場合は、この電源管理の初期設定によって、エネルギー スター認定のコンピューターが以下の動作を行うように設定されています。

- 無操作状態で 15 分以上経過すると、外部ディスプレイの電源がオフになります。
- 無操作状態で 30 分以上経過すると、省電力のスリープ モードに切り替わります。

ユーザーがコンピューターの使用を再開した場合は、エネルギー スター認定のコンピューターでは省電力のスリープ モードを終了します。また、エネルギー スター認定のディスプレイでは操作を再開します。これには、ユーザーが電源/スリープ ボタンを押した場合、入力デバイスから入力信号を受信した場合、有効になったウェイク オン LAN（WOL）機能を使用してネットワーク接続から入力信号を受信した場合などがあります。

エネルギー スター プログラムの環境への貢献、電源管理機能によるエネルギー消費および経費の節減の可能性について詳しくは、EPA のエネルギー スターの電源管理に関する Web サイト、http://www.energystar.gov/powermanagement/ （英語サイト）を参照してください。

## 有害物質の破棄

一部の HP LCD モニターには、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体に問い合わせるか、EIA（Electronic Industries Alliance）の Web サイト、http://www.eiae.org/ （英語サイト）を参照して問い合わせてください。

## Disposal of waste equipment by users in private household in the European Union（欧州連合向け）

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

## HP リサイクル プログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/ を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクル プログラムについて詳しくは、http://www.hp.com/recycle/ （英語サイト）を参照してください。

## 化学物質

HP では、REACH（Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council）などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、http://www.hp.com/go/reach/ （英語サイト）にアクセスしてください。

## 日本向け製品の部材表示について

2008 年、日本における製品含有表示方法、JISC0950 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、http://www.hp.com/go/jisc0950/ （英語サイト）を参照してください。

## China restriction of hazardous substances（中国向け）

### 有毒有害物质/元素的名称及含量表

根据中国
《电子信息产品污染控制管理办法》

液晶显示器

| 部件名称 | 有毒有害物质和元素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 铅 (Pb) | 汞 (Hg) | 镉 (Cd) | 六价铬 (Cr(VI)) | 多溴联苯 (PBB) | 多溴二苯醚 (PBDE) |
| 液晶显示器显示面板 | X | O | O | O | O | O |
| 机箱/其它 | X | O | O | O | O | O |

CRT 显示器

| 部件名称 | 有毒有害物质和元素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 铅 (Pb) | 汞 (Hg) | 镉 (Cd) | 六价铬 (Cr(VI)) | 多溴联苯 (PBB) | 多溴二苯醚 (PBDE) |
| 阴极射线管 | X | O | O | O | O | O |
| 机箱/其它 | X | O | O | O | O | O |

O：表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。

X：表示该有毒或有害物质至少在该部件所用的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟RoHS法规 — “欧洲议会和欧盟理事会2003年1月27日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的2002/95/EC号指令”。

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

## Turkey EEE regulation（トルコ向け）

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur

## Ukraine restriction of hazardous substances（ウクライナ向け）

The equipment complies with requirements of the Technical Regulation, approved by the Resolution of Cabinet of Ministry of Ukraine as of December 3, 2008 No. 1057, in terms of restrictions for the use of certain dangerous substances in electrical and electronic equipment.